



長野縣下伊那郡竜村寄附地  
印刷所 今村玄吾  
發行所 竜丘青年會  
代表者 今村順三  
印刷所 龍共社印刷所

### 論 農村再生に ついて

窮乏のどん底に喘ぎ抜いた  
陰惨なる苦年を送つて、此處  
に拾年度の農村は、如何なる  
方針によつて再生を計るべき  
であらうか。

謂ふ所の再生政策として目  
く、米穀統制法、農産物  
販賣統制、又は地方制度の改  
善等は、如何に此の農村を救  
ひ經濟難を緩和して呉れるで  
あらうか。

現制度上に於て、たゞいか  
る方法が持ち出されても、  
それだけで農村を根本から再  
生し得ることは考へられないが  
然しそれだからこゝで、か  
ゝる方法を一概に抹殺すべき  
ものでなく、一應はよく研  
究批判して、しかして後正當  
にして最も合理的なる方法に進  
むべきである。

此處に先づ我々が至念すべ  
き農村再生政策は、それがパ  
ラ／＼の部分的な策でなく、  
若くは一時的補綴策でなく、  
全体的で且つ恒久的なるもの  
を最も必要とするものである  
爾來急進された諸政策では  
眞の農村再生は出来得べくも  
なく、益々疲弊窮乏に落ち込  
む許りである。即ち土木事業  
や産業統制では、應急のもの  
であつて、決して永続的に實  
施されるべきもので無く、應急  
融資なども利用法の悪しき

### 露滿國境より

懐かしき諸先輩並に舊友諸兄  
如何に筆不精は申せ餘りに  
も横着致し憲に申譯ありませ  
ん、平に御許容下さい、其後  
小生も御陰を以て至極がん健  
にて微力乍御奉公に努めて居  
ますから御安心下さい。

小生も平常の念願でありまし  
たが今回突然の命令で第三師  
團歩兵六聯隊附を以て露滿國  
境駐劄を命ぜられました、命  
令接受は恰も四師團野砲四聯  
隊附で伊勢より伊勢路にかけ  
て二週間の演習を終り、師團  
營庭講評場にての接受たりし  
爲隨分のまごつきで、軍  
装の用意やら、備品の發送、  
不用品の返送等二晝夜を忙殺  
され、十一月末日三師團へ掛  
任した譯です、思へば過去三  
年騎砲兵と異つた部隊と接觸  
し相當苦勞を重ねし一面又  
各兵種の特徴も見られ、勤務  
上に於ける難易の研究も出来

偶々五、團の部長殿が盛岡の  
先輩、あり舊友諸氏の送別宴  
に招かれ強か御馳走を及けま  
して最も愉快な一夜を送りま  
した、明けて十三日午後四時  
宇品出帆、港を埋むる艦船の  
汽笛岸壁を埋むる各團休隊送  
者の打振る小旗、只感激の涙  
にむせびつ、金色に輝く瀬戸  
内海を航行、夜九時關門海峡  
を通過し、有名は支海に出ま  
した。船は八〇〇噸、海は  
稀有の静けさで恰も墨の上を  
滑るが如く、全員〇〇〇の  
内陸量するもの更らになく、  
少々アツクなき思ひでした、  
十四日午前九時頃對馬沖を通  
過完全し故山を見納め、小春  
日和さと思はる、暖かさに甲  
板上各所に兵の体操實施誠に  
平穩な航海でした、十五日早  
朝既に朝鮮半島南端を廻り島  
の西側に出で、霧に浮ぶ大島  
小嶋を右に見つ、午後八時に  
は早くも月光銀波の彼方に仁  
川港の光りを見納めました、同  
九時港外着、一、艦内に明け  
て十六日午前九時、數多の小  
舟に分乗上陸を開始致しまし  
た。

### 露滿國境より

得るわけで今度の轉任は至極  
興味を持つ次第であります、  
愈々年の瀬も迫る十二月十一  
日午後二時師團屯營を出發致  
しまして十二月十九日午後九  
時露滿國境(ムーリン)へ無事  
到着致しました。

願ひ見れば屯營出發以來十日  
間つら／＼地圖を繕く時、我  
乍ら能く来りしものかなの感  
を深ふする次第であります。  
此の長い輸送間風邪にもおか  
されず相變らずのがん健にて  
目的地に到着し得た事は各位  
の御後援と神佛の御力に依  
るもの深く感謝して居ます  
未だ到着直後右も左も判別  
致し兼ねる有様ですが、出發  
以來の状況よりボツ／＼お知  
らせたいと思ひます。

前文通り十一日名古屋市民の  
熱狂的歡送裡に屯營出發沿線  
に至る所ホームを埋むる後援を  
受けつ、十二日朝五時廣島着

### 前號訂正

一月一日附を以つて  
發行配布致しましたる元  
且號紙に於て、寫眞版  
説明「地」は誤植に  
て「池」が正確に就き  
こ、に講んで訂正致しま  
す。

前文の如く元旦且に於け  
る地「池」の誤植に  
つき、謹んで訂正し併て  
こ、に深謝致します。  
龍共社印刷所

への第一歩を印しました、さ  
ゝ有名な團門です、此處で列  
車乗替、未だ地圖上に表はれ  
て居ない圖案線で行く事に輸  
送計畫が示されたのです。  
此邊氣温日中も雖も零下四五  
度を示し、赤手は絶対出せま  
せん、團門は滿洲國以來す  
ばらしい發展にて滿洲鐵道其  
他の官舎構造物の發展振で  
す、午後四時半團門出發、拳  
銃の弾を込め警備隊も乗車、  
兵は全部防寒服に執銃の儘で  
夕暗迫る頃老爺溪に差か、る  
窓は全部幕を下し、各車毎  
に銃劍付の歩哨兵が窓硝子越  
しに鶴の目鷹の目の見護りを  
續けつ、進行する様は一寸悲  
壯なる風景です、始めての運  
行故處々に不時停車、其都度  
神經を尖らせしも別段の異状  
もなく北鐵の牡丹江(液河)に  
到着しました、一寸線の様  
子を書きます此の邊一帶頗  
る密林で線路兩側は百米位全  
部伐採所々に此の嚴寒も物か  
はさ忠勇なる鐵道警備の我兵  
士が警戒の任に就いて居ます  
液河は事變以來東部北鐵線で  
第一の都會日滿露人で織るが  
如く話によれば一時間停止す  
れば市の模様も變化するこの  
事です、茲で午後二時半迄休  
憩、此間將校一同旅團長(液  
河に旅團司令部在り)の招待  
で同市一流旅館に會食があり  
ました、市の真中に未だ生々  
しき戦死者の碑があり、行交  
ふ人間の面構へは温和の相更  
らになく苦力露助等市云ふ  
ても鼻持ちならぬ混雑です、  
午後二時半目下問題の北鐵に  
乗り込みました、國際列車故  
車は素晴しく従業員は殆んご  
露助、然も乗込む警備兵は日  
滿入云ふ珍無類の代物で、  
然も〇〇〇〇名の軍用列車を  
一度に引張るんですから其遅  
い事先づ天下一品、走るが如  
く、走らざるが如く、誠に

一個あるのみ、當番君は服務  
中は隊へ出す何か小生の身  
の廻りの世話をなし呉れ骨肉  
も及ばざる親密さで頭髪こそ  
短かいが最も大切な最も尊  
貴な女房です、雪は少けれど  
朝の露は雲は想像外です、  
今朝は零下三十度、赤手は絶  
對露出を許しません、不潔な  
話なれど便所の時間は更に無  
駄を許さず落下と同時に氷結  
害に美觀です、一代道具を凍  
傷にかけてはたまらぬと聊か  
恐れをなして居ります、十九  
日夜聯隊長の訓示後官舎にて  
會食あり、強かメートルを上  
げての歸る官舎を間違へ、  
一館のドアを頻りに叩いて  
居る内中より露助飛出し大  
いに面喰いました、小生より  
彼が驚いたらしい。  
人相の悪い而も後身の軍人が  
深夜飛込んだのだから、以前  
露助野在勤當時日露交換將校  
の露助君に「今日は」「齊  
ません」位の單語は研究せし  
も突差の出来事何やら高聲に  
ペラ／＼やるが、當分馬耳東  
風失敬々々で早々退却、先づ  
到着早々の失敗でした、今で  
して二三日の間は一寸洋行  
でもして居る様な気が湧きま  
す、露助満鮮日其他の人間に  
日滿露の警備兵でつた返し  
如何にも文句がありそうにも  
思はれます、青い眼の美人も  
澤山居ます、何處も同じ美人  
の發展振り、目下此邊全くの  
平穩、露助も、支那も、會  
ふ毎に敬禮、亦は必ず言葉  
を掛け、流石に皇軍の豪勢  
さは大したもの、未だ着  
任早々兒戯に類した事のみ何  
の興味もありませんが何卒御  
笑讀下さい。

時は正に一九三五の所謂非常  
時の非常時、雨か風かた雪  
か靜かに頭を回せば西歐黒雲  
一抹の流れ風をばらんで東漸  
す青年諸兄折角の御自愛と御  
精勵の程を、小生微力乍ら渾  
身の努力もて御奉公致す覚悟  
であります、何卒今後相變ら  
ずの御後援の程を御願申して  
筆を擱きます。

故郷舊友諸兄  
祖國を離て幾山河遠き露滿  
國境より 齊 藤 壽



糸加工組合 副蠶 靈外耕史

蠶糸業の不振は絹糸が本質的に吾等人類の被服的価値が...

丸きり格違の人間に何故壓迫せられたか、それには随分世人の氣付かない理由が伏在...

場に出てゐる。故に後進人絹に其領域を奪はれた今日でもそれに追...

だ。そればかりではない、養蠶の不利を嘆じ悲鳴を擧ぐる...

だ其情憐むべく其愚陋ふ可ではないか。然るに今日上下擧つて其愚...

に紹介したいこの遷生の一念は寢食を忘れその研究に余念なく、その宣傳に没頭して...

函又は青文會投書函、青年會女子青年會、愛友會圖書部員...

地方制度の改正も不況對策の一つのあらわれか。うまくいつてくれれば幸だが...

時事解説

昭和十年の經濟界 不況をそのまゝ、背後つて迎へた昭和十年の景氣は、さてもさうなる...

に實施された時局匡救に對して約三分の一の、本年度災害救濟費を以つてしては、意...

なほ對外貿易の方も爲替安の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

の爲、爾來不利な立場にあるが、今後海外事情によつて如何に變化されるにしても、恐らく有利な變動はあるまいと...

選挙ご信念

選挙年来る昭和十年は正に選挙オンパレードである。四月、農會總代選挙...

希望圖書募集

今般第一回購入圖書選擇に際し、廣く愛讀者諸兄弟の希望圖書を募集致します。

雙双劍

こゝに始めて、何十年來の不況さ、何十年來の災禍で、正に泣面に蜂の昭和苦年を送り出す。

編輯後記

一月廿五日發行豫定の所色々の都合で後れて仕舞ひました。御諒承を乞ふ。

妊産婦無料診断

回二月診断日 九日午前九時 自正午迄

経済改善成功組合

本縣に於ては三百八十七市町村中經濟改善委員會の設置せられてゐるものは、三百七十七市町村で、その計劃の樹立を見たるもの三百卅五市町村に及び、實行の途上にある...

ザール人民投票

ドイツの西部ライン川の左岸に位し、鐵及石炭の産地として有名なザール地方は、世界大戰の後講和會議の際、フランスがドイツより損害の代償として、採掘權を獲得したものであるが、その領土權に關しては、十五月間即ち本年三月迄は、國際聯盟の管理に屬し、の後の土地の歸屬は、...



家庭

子供のしつけ方の呼吸

家庭欄新設によせて

時又婦人會 下 平

此度電丘時報に家庭欄を新設されました事は誠に悦ばしい事でございます...

二月の行事

節分(四日)

節分は立春前一日のこまで「年越」も云ひ、門戸に格の枝にいわしの頭を挿して厄除けの安息を祈り、黄昏になる豆を撒いて病疫の鬼を追ひ出します。

この夜自分の年数のいり豆を紙に包んで四辻に捨てる厄をまぬがる云われて居ます...

クツピトの丘

贈答 品異聞

正月の或日 きれいに着飾つて年始の禮に來て呉れた奥様が...

この季に特に多い 感冒と恐しい肺炎

常日頃の豫防と手當が肝要

この頃の様には寒い時節の保健康が一番むづかしいものです...

おす、めしたい 毛物類の洗濯法

毛物下着を縮ませて、昨年温かい物が、今年はいささか...

御存じですか

堅炭は始めのまゝで立て置いて、上から水をかけて乾いてから使ふ...

日頃の願ひ

さかく女は口やかましいもので、お茶を話で洩した悪口から、こんな迷惑を人にかけ、引いては自分の身もせめばめ近所のおつき合も面白くなくな...

豆 外 國

「何んこ云つても花のバリーさ。」 「僕はまず第一にスカラ座へ飛込むね。」



或る手紙の断片

中 志 満

相變らず暢氣なものだ。毎夜星を見て暮してゐる。浮世のゴタ／＼を見てゐるよりは...



冬 蒼 水

方がなかつたことも思つてゐる君には大分心配をかけた。雨の日に訪ねてくれたのも、この問題についてだ...

暖かに柿の干されし障子かな 雪嶺や運動場はたゞ廣し 旅人に爐火赤々燃えにけり

冬の木や月の面走る雲の影 静座して炭はねる音や大座敷 キヤラメル箱の箱じこめて氷

茶の花に日暮れて雨さなげに 素枯れたるもろこの葉や秋の風 ぼた火さろく着ぶくれて父老ひぬ

今朝晴れて百舌鳥のきびしく泣きにけり 見てやれぬ赤子のよく泣けて大晦日 水車小屋音も車も凍てつくし